

生きづらさを抱える生徒たち ～学校でできるかかわり～

オンデマンド
配信します

近年、青少年の身近にある依存の問題については、大麻や市販薬の乱用、インターネットやゲームの使用など、幅広い分野へと広がっており、その背景には、さまざまな生活上の困難や生きづらさが隠れていると言われていています。

本研修では、依存症の基礎知識に加え、市販薬の乱用やリストカットなどの自傷行為など、生きづらさを抱える生徒へのかかわりについて学んでいただけます。

配信期間

2月6日（木）10時から3月14日（金）17時まで

※ 本研修は、12月4日に開催した同研修を録画した動画をオンデマンド配信するものです。

● 体験談 「非行、薬物、自傷行為、問題行動の背景にあったもの」

発表者：リカバリハウスいちご 渡邊 洋次郎 氏

万引きなどの非行やアルコール・薬物への依存から、精神科病院への入院や刑務所での服役の経験を経て、現在依存症の回復施設で依存症の方の支援に携わっている渡邊さんからは、少年時代に感じていた生きづらさや学校への思い、また依存症からの回復などの体験談をお話いただきます。

● 講義 「生きづらさを抱える生徒と依存症」

講師：大阪人間科学大学 心理学部 特任教授 野田 哲朗 氏

東布施野田クリニックの院長でもある精神科医の野田先生は、大学保健管理センターで多くの学生のメンタルケアや治療にも携わっています。本研修では、依存症の基礎知識に加え、生きづらさを抱える生徒に対して学校の先生方ができるかかわりについて事例を交えながらお話いただきます。

対象

保健所職員、市町村職員（保健・児童福祉の担当課等）
子ども家庭センター職員

【上記について、政令市（大阪市・堺市）を除く大阪府内で勤務されている方】
大阪府内の高等学校、支援学校高等部、高等専修学校、大学等の教職員

申込

研修案内ページ内にある申込フォームか下記の二次元コードよりお申込みください。
「こころのオアシス」<http://kokoro-osaka.jp/>

依存症予防教育 → 【オンデマンド研修】第2回依存症予防教育教職員向け研修

締切：3月13日（木）17時まで

同じ所属から複数名参加される場合も
必ずお一人ずつお申込みください



大阪府こころの健康総合センター 相談支援・依存症対策課 担当：池田・引地

TEL：06-6691-2818 FAX：06-6691-2814

E-mail：kenkosogo-g25@sbox.pref.osaka.lg.jp

問合せ先